【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和2年4月2日(2020.4.2)

【公表番号】特表2019-517118(P2019-517118A)
【公表日】令和1年6月20日(2019.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2019-023
【出願番号】特願2018-562056(P2018-562056)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　13/24　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　13/24

【手続補正書】
【提出日】令和2年2月18日(2020.2.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１３】
前記コンタクト部材（５）は、前記固定セクション（８）によって、少なくとも１つの塑性変形可能な接続要素、特にリベット（１５）によって、前記固定スポット（３）に接続されており、前記接続要素（１５）は、前記コンタクト部材（５）と１つの部品として形成されていることを特徴とする、請求項１～１２のいずれか１項記載のコンタクト要素（１）。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９９】
コンタクト部材５，５ａ，５ｂは、コンタクト部材５，５ａ，５ｂを、線Ｍに対して平行に配置された回動軸線Ｓを中心に回動させることができるように、キャリアストリップ２に対して配置されている。これは、特に、図４ａ，図５ａ，図６ａ，図７ａ及び図８ａに明らかに示されている。回動軸線Ｓは、ここでは図面の紙面に対して直角に向けられている。コンタクトが第１のコンタクト片Ｋ１によって形成されるとき、図１及び図２に示されているように、コンタクト部材５が回動させられ、回動運動は矢印Ｓ’によって示されている。